

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	中央公民館事業（施設管理）					
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係	課長名	佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1-2	-
【施策名】 生涯学習の充実	総 合 計 画 書 (ページ)	35	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁴	社会教育費	目 ²	公民館費	事業 ¹	中央公民館事業費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	------	-----------------	----------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 中央公民館利用者	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 中央公民館利用者数（集計表あり）
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 利用者が安全に利用できるようにする	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 公民館の利用率（集計表あり）
	③ そのために何をしましたか。 ①施設内外の点検・確認 ②業者に点検委託している ③工事修繕	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①開館日数（集計あり） ②委託件数（予算書等参考） ③施設工事修繕件数（実績より）

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	105,118	104,250	96,618	/
	成果指標	②の数値	%	67	67	61	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	①日 ②件 ③件	①306 ②17 ③16	①306 ②16 ③9	①306 ②18 ③16	/

3 経費	事業費（実績）		円				
	財源	一般財源	円	経費は、各館事業費に含まれる			
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人				
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円					
職員人件費(再任用)		円					
	事業費+人件費	円	0	0	0		

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。

人件費（再任用職員以外）
年間単価は、8,244,000円
時間単価は、4,200円
で計算してください。

【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 昭和49年8月、市内2番目の公民館として開館。市民の生涯学習の充実を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成26年度耐震化工事

仕 事 の 内 容	中央公民館事業（施設管理）			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	和室の畳劣化、障害者用トイレドア不具合、トイレ排水不具合、トイレ洋式化、ホール壁紙劣化			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	施設の老朽化のため、修繕箇所が多数ある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	水漏れ、排水つまり修繕、ドア修繕、エレベーター修繕、給湯器交換、ホール放送卓の交換等			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	施設の老朽化のため、修繕箇所が多数ある。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ホール天井改修・屋上防水工事・外壁改修工事がH31実施に実施予定。 その他の修繕については優先順位をつけ予算の範囲で修理を行うほか、必要に応じては予算計上していく。			
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	その他、修繕箇所を把握し計画的に予算計上していくが、施設の老朽化のため、大規模修繕となると多額の費用がかかる。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。